

未来の福祉セミナー

2018/10/6 第1回 自己分析と目標設定

講師: 阪本佳央 (NPO法人 AtoMs 理事長)

事例報告: 米田英雄 ((社福) ぷろぼの 統括施設長)

あたつく組合が「未来の福祉の担い手育成」を目的に開催する「未来の福祉セミナー」が始まりました。

これからの社会は、先が読めない「VUCAワールド」であり、そのような時代の福祉事業を担う「人材」と「魅力ある事業所」を育てるといふセミナーの目的を参加者が共有し、今日学びたいことについて話し合うことからセミナーが始まりました。

続いて、KPT分析という手法により、自己分析を行い、目標設定やその実現手段についても話し合いました。

次に、ぷろぼの統括施設長の米田さんから、法人としての年間目標の立て方や、進捗把握の重要性についてお話を伺いました。



午後からは、「デザイン思考」について説明を受け、「目的と手段」や「事実と原因」、「自分課題、相手の課題」など

Key1 VUCAワールド

変動性 (Volatility)
不確実性 (Uncertainty)
複雑性 (Complexity)
曖昧性 (Ambiguity)

Key2 KPT分析

Keep うまくいってること、
続けたいこと
Problem うまくいかなかったこと、
改善したいこと
Try あたらしく始めたいこと、
挑戦したいこと

Key3 デザイン思考

Why 何のためにするのか、なぜするのか
What 何をするのか、どんなことをするのか
How どうやってするのか、方法は何か

を分けて考えるワークに取り組みました。

その中で、「手段がいつの間にか目的化していないか。本当の目的は何だったのか。」を時々点検する重要性にも気づくことができました。

また、これらのワークを通して、これまでなんとなく“もやもや”していたものが、だいぶ“見える化”できたように思います。

楽しく、有意義なセミナーでした。

私が今日学んだことは

時には立ち止まって整理する

文責: 大川 健 (ソルナ・クリエイト(株))